

令和6年度 奈良女子高等学校(全日制課程) 学校評価報告書

建学の精神	三敬銘【敬身、敬学、敬事】 敬身 … 自分らしさを大切に 敬学 … 生き生きと学び 敬事 … 誠実な人になろう	
スクール・ミッション(学校の使命)	自分らしい人生を実現するための資質・能力の育成	
スクール・ポリシー	アドミッション・ポリシー (入学者受け入れに関する方針)	目標に到達するためには、始終小さいことに気をつけて、5つの間違いは3つに減らし、3つの間違いは1つに減らすような学び方ができる人 これに加えて ① 好きなこと、得意なことがあり、それを伸ばしたい人 ② 様々なチャレンジを楽しみたい人 ③ 自分が他人にしてもらいたいように他人にすることができる人 (※言い換えると、他人の嫌がることは絶対にしない人)
	カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)	【目指す学校像】・本当にやりたいこと見つかる学校 ・大切なことを経験を通して学べる学校 目指す学校像を実現するために、好きなこと・得意なことを伸ばす、自分では気づいていない才能を見つけて伸ばす。これに加えて「未知への挑戦」としてプロジェクト型の多様な学びができるコース活動に取り組むことで『自分らしい人生』が見えてくると考えています。実施にあたって、 ① iPad など ICT 活用 ② マイプロジェクトなど探究学習 ③ 産学・地域連携 に重点的に取り組んでいます。
	グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)	世界で注目が高まる「Well-being(ウエルビーイング)」。幸せで、肉体的にも精神的にも、そして社会的にも、すべて満たされた状態にあることをいいます。自分らしい人生とは、ウエルビーイングな人生です。その実現のために育成を目指す資質・能力は 創造的思考力…つなぐ力 (異なるアイデアや視点を結びつけ、新しい価値や解決策を生み出す能力。人と人をつなげる能力も含まれます。) 社会人基礎力…◇ 前に踏み出す力 ◇ 考え抜く力 ◇ チームで働く力

学校評価アンケートは、生徒・保護者・教職員の3者に分けて実施、各質問項目に次の4段階で評価した。

4 とても当てはまる 3 やや当てはまる 2 あまり当てはまらない 1 まったく当てはまらない ※ 保護者は、左記選択肢に「0 判断できない」を含めて実施
以下の表の生徒・保護者・教員の%の数字は、全体に対する肯定的な回答(4または3と回答)の割合。

領域	アンケート項目(生徒用)	生徒	保護者	教職員	自己評価
1 学校経営	① 『建学の精神』・『スクール・ミッション』や『スクール・ポリシー』についてわかりましたか。	86.8%	72.0%	100%	A
	⑮ 学校は、ホームページ、Instagramやメール配信により適切な情報発信を行っていますか。	75.6%	78.4%	100%	A
2 アドミッション・ポリシー(入学者受け入れに関する方針)	② 目標に向けて、小さな努力を続けていますか。	78.0%	78.4%	71.5%	B
	③好きなこと、得意なことがあり、それを伸ばそうとしていますか。	78.6%	83.2%	95.3%	A
	④ 様々な取組に積極的に挑戦していますか。	69.0%	72.0%	71.5%	B
	⑤ 他人の嫌がることは絶対にしていませんか。	81.0%	81.9%	33.3%	B
3 カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成及び実施に関する方針)	⑥ 本当にやりたいことを見つけましたか。	56.4%	62.4%	61.9%	B
	⑦ iPad など ICT を活用した取組ができていますか。	77.4%	84.8%	100%	A
	⑧ 『NJ SDGs』や『マイプロジェクト』などの探究学習ができていますか。	76.2%	68.8%	100%	A
	⑨ 外部講師から学んだり、地域・企業と連携して学習に取り組んだりしていますか。	67.2%	49.6%	95.3%	B
4 グラデュエーション・ポリシー(育成を目指す資質・能力に関する方針)	⑩ 学校での取組を通して、創造的思考力(つなぐ力)が、前よりついたと思いますか。	73.2%	75.2%	61.9%	B
	⑪ 学校での取組を通して、社会人基礎力(前に踏み出す力)が、前よりついたと思いますか。	69.6%	80.0%	81.0%	B
	⑫ 学校での取組を通して、社会人基礎力(考え抜く力)が、前よりついたと思いますか。	72.6%	72.0%	57.1%	B
	⑬ 学校での取組を通して、社会人基礎力(チームで働く力)が、前よりついたと思いますか。	73.2%	70.4%	61.9%	B
	⑭ 自分の今の状態は、well-being(ウエルビーイング)といえますか。	63.0%	67.2%	61.9%	B
5 生徒指導	⑯ 学校は、いじめ防止基本方針にのっとり、生徒のいじめの未然防止や早期発見に努め、適切に対応していますか。	68.4%	56.0%	90.5%	B
6 進路指導	⑰ 学校は、適切な情報提供や面談などをとおして、生徒に細やかな進路指導を行っていますか。	73.8%	72.0%	95.3%	A
7 人権教育	⑱ 学校は、生徒の人権尊重意識を高め、豊かな人間関係づくりに取り組んでいますか。	73.8%	73.6%	85.7%	B
8 施設管理	⑲ 学校は、施設・設備を点検管理し、教育環境の整備に取り組んでいますか。	72.0%	76.8%	71.5%	B
9 保健・安全指導	⑳ 学校は、生徒の健康管理、地震・火災など災害時の安全管理に取り組んでいますか。	79.2%	81.6%	85.7%	A
10 教職員のみ	本校は、分掌・コース・学年、教科等が連携しながら、教育活動に取り組んでいる。			81.0%	A

自己評価の方法

手順1 生徒・保護者・教職員の三者について、肯定的な回答(4または3)の割合を3で除して平均を算出する。

手順2 手順1によって得られた点数について、80%以上であれば「A」、60%以上80%未満であれば「B」として、「自己評価とした。

次年度に向けての改善策

1 学校経営	『建学の精神』・『スクール・ミッション』・『スクール・ポリシー』について、よりわかりやすい資料を学校ホームページに掲載し、周知に努める。
2 アドミッション・ポリシー	入試関連資料・行事において明示し、入学希望者に周知を図る。また、入学後も節目ごとに確認を行う。⑤の生徒・保護者と教職員の評価の乖離について分析し、改善を図る。
3 カリキュラム・ポリシー	コース活動や探究学習に加えて、通常の教科においても探究的な学び方ができる単元を開発し、実践に繋げる。校外のイベントやコンテストなどに主体的に参加できるように支援する。令和7年度から導入する「放課後学習支援」との連携を図り、個々の生徒の支援を充実させる。
4 グラデュエーション・ポリシー	授業や課外活動などにおいて、「振り返り」を重視し、その中でグラデュエーション・ポリシーの成長を可視化する。卒業後の追跡調査を試行し、どのような効果が上がっているか資料収集を開始する。
5 生徒指導	いじめ防止基本方針の周知を図る。アンケート調査に加えて、人間関係づくりや教育相談体制の充実を図り、未然防止や早期発見に努める。
6 進路指導	探究学習を進路指導に繋げる。メタモジによる情報発信を整備する。従来の手帳をアプリ化し、進路実現に向けて自己調整できる力を育成する。
7 人権教育	人権尊重の意識を高め、豊かな人間関係づくりにつながるコミュニケーションの取り方を学ぶ具体的なワークや取組を実施する。
8 施設管理	毎月の安全点検日に施設・設備の点検・管理を徹底する。ICT環境について技術の進歩に合わせて更新できるように計画的に整備する。
9 保健・安全指導	生徒の状況把握に努め、健康面・生活面に対して保健だよりなどを通して保健指導を行う。地震災害を想定した避難訓練、防災教育を充実する。
10 教職員のみ	学年担任制の実施により得られたチームワークを活かして、学年やコースの枠を超えて協働できるように工夫する。